

さ迷う日本の言霊の  
くらい地平に拡がる  
マングラ映像宇宙が  
今鮮やかに花ひらく

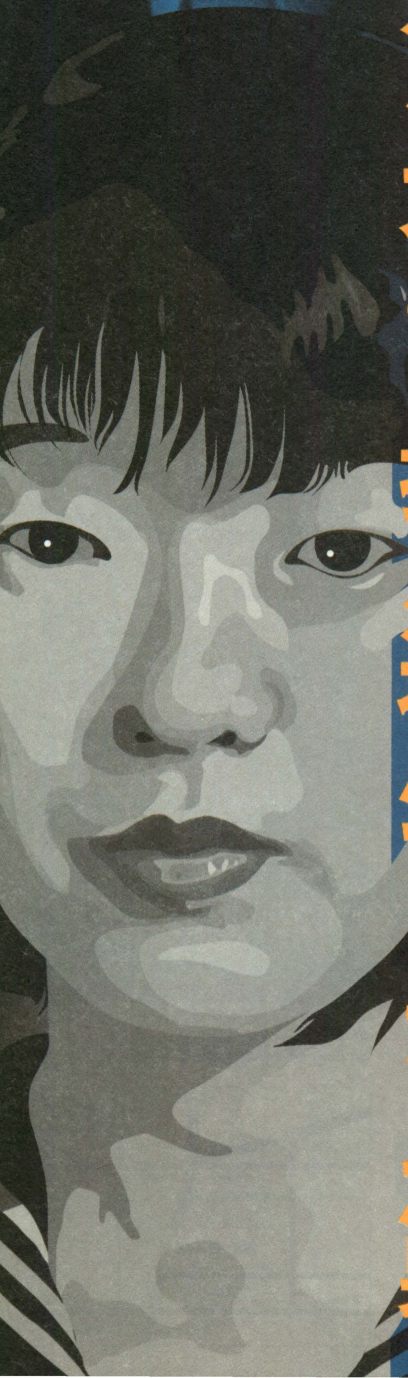
# 日本心中

針生一郎・日本を丸ごと抱え込んでしまった男。

大浦信行監督作品

山形国際ドキュメンタリー映画祭2001正式招待

立見続出!  
渴望のアンコール!  
大阪・東京同時上映!!





異端の批評家・針生一郎が痛魂の言葉で日本を切り裂く。  
 魂の舞踏家・大野一雄が哀しみとともに日本を舞い踏む。  
 封印された美術家・大浦信行のイマジネーションが描く触覚日本論。ドキュメンタリー

# 日本心中

針生一郎・日本を丸ごと抱え込んでしまった男。

近年こんな映画は見た事がない。  
 これは日本のアバンギャルド映画だ。白井佳夫

山口百恵とベンヤミンと一緒に  
 出てくる唯一の映画。港千尋

何かがゆっくり染み込んでくる  
 奇妙で不思議な映画。井土紀州

この映画には“怒り”が溢れている。若松孝二

濃厚な美意識による子宮回帰的映画。榎木野衣

大浦信行が大きなリスクを  
 犯してこの映画を撮った。鶴飼 哲

これは思想映画だ！  
 大浦信行は現代の“由井正雪”だ。鈴木邦男

イメージの連鎖と自立によって  
 新たな世界との関係を造り出している。  
 そこに私の映画との共通性を感じる。諏訪敦彦

出演:針生一郎 大野一雄 大野慶人 洪成潭 河正雄 彫長 中野弘美ほか  
 監督・脚本:大浦信行 撮影:辻智彦 録音:川嶋一義 編集:辻智彦 中西義久 大浦信行  
 音楽:中山ラビ 制作:渥美比奈子 原丸珠 宣伝:五十嵐勝美 宣伝美術:高村雄介  
 (2001年/日本/カラー/90分) 製作・配給:国立工房

そこに針生一郎がいることの批評性 榎木野衣

——21世紀を迎えてなお、業界の最長老といってよい針生一郎が、活動中の美術批評家のなかでもっともまっとうに筋を通し、新たに論戦を挑み、冒險的な試みを提示し得ているのは不思議なことではない。  
 そんな針生の姿を、美術家の大浦信行が記録映画に収めるべく活動しているという話を聞いてから、もう随分時間が経つ。  
 針生一郎のような存在を記録に収めようと思いついたのが、大浦のような、いち美術家であったことに、あらためて思いを強くする。  
 たしかにこれは、たんなる記録映画というわけではない。  
 大浦の暗い情念と甘美なロマンティズムは、ここで、針生の政治的信念とのあいだに、不思議な流通の回路を設定されている。そして、この回路を通じていつしか、大浦の中の政治的信念と、針生のなかのロマンティズムが、奇妙な交感を始めるのだ。  
 そこにはまだ、未完の部分があるかもしれない。しかし、世界がなすすべもなく無法の殺戮へと呑み込まれていくなか、大浦と針生の物語はいま、その長い航海の端緒についたばかりだ。  
 [さわらぎのい・美術批評]

## INTRODUCTION

戦後日本の五十数年を、美術・文芸評論を通して闘って来た批評家、針生一郎(1925~)。戦前、日本浪漫派のイデオログ保田與重郎に傾倒し、戦後は転向、思想家ベンヤミンの理念を血肉として、今なお日本の変革を試み続ける針生一郎の言説は、ポストモダンが完全破産し、混迷する今日の社会状況の中、再びその重要性が認識されつつある。この映画は、老批評家・針生一郎の言説を、風景と幻想、追憶と想像力の織りなす映像のタペストリーとして描く、イマジネーションのドキュメンタリーである。  
 監督の大浦信行は、1949年生れの現代美術作家。ニューヨークにおいて制作した、天皇を主題とした版画シリーズが日本のタブーに触れ、収蔵された美術館によって無断売却、図録470冊が焼却処分された。提訴し裁判を起こすも、2000年11月最高裁で棄却。全面敗訴した。  
 そして今回、大浦信行がそれへの返答として、近・現代日本のねじれと歪みを己の痛みとして抱え込んで苦闘する針生一郎を通して、映像の衝突と融合の『マンダラ映像宇宙』を彫り上げたのだ。  
 その時、哀しみに満ちた「死者の歴史」が針生一郎の夢想と溶け合い、『触覚日本論』として今、たおやかにその姿をあらわすだろう。

<http://www.interq.or.jp/leo/lgallery/default.nihon.html>

## ■日本を挑発する怒濤のトークライブ決行!

11月2日[土] P.M.12:00~ **針生一郎 × 大浦信行**  
[美術・文芸評論] [美術家・映画監督]

11月6日[水] P.M. 8:10~ **木ノ下智恵子 × 山下里加**  
[神戸アートビレッジセンター美術担当] [美術ライター]

11月8日[金] P.M. 8:10~ **趙博** [ミュージシャン]

11月9日[土] P.M.12:00~ **金時鐘 × 大浦信行**  
[詩人] [美術家・映画監督]

※都合によりゲスト変更の場合があります。

## 禁断のポスト・アバンギャルド遂に解禁! これを見ずして日本は語れない!

11月2日[土]~11月22日[金]

モーニングショー 連日A.M.10:20~

11月6日[水]~11月9日[土]

イブニングショー 連日P.M.6:30~

特別鑑賞券1100円(税込)

●チケットぴあ・阪急プレイガイド・阪神プレイガイドなどで好評発売中!  
 (当日:一般1500円 大学生1300円 シニア・高・中・小1000円)

大阪市淀川区十三本町1-7-27サンボードシティ6F  
 阪急・十三駅西口より徒歩3分

**第七芸術劇場**  
 ☎06・6302・2073

●サービスデー  
 月曜・男性1000円 火曜・会員1000円  
 水曜・女性1000円 金曜・ペア2600円

